

市 研 特別活動 速報

【中学年部会】

発行日 平成28年11月11日

横浜市立小学校特別活動研究会

会 長 高橋 宏明

研究テーマ 明るい未来を切り開く子どもを育てる学級活動の在り方
～集団活動を通して、子どもの自尊感情を高めるためには～

活動名 「前期ラストスパート！係活動をパワーアップさせて『キラスマ』をもっと増やそう！」

○活動のねらい

「係活動をパワーアップさせて、『キラスマ』をもっと増やそう！」の活動を通して、自分のやること
が分かり、みんなのために進んで活動する大切さに気付き、学級のみならず協力合って、楽し
い学校生活にしようとする態度を育てる。

○テーマにせまるための具体的な手立て

- ・自分の仕事を見付けられるようにするために、今までしてきた係活動を見直す。
- ・少しずつ自信をもって活動できるようにするために、段階的に振り返りカードを書くようにする。
- ・活動の見通しがもてたり、活動時間を保証したりするために、カレンダーを活用する。

○研究討議・講評から

- ・これまでの係活動の振り返りから課題を見つけ、各係の活動を計画、実行するといった係活動の基本的な指導が連続的に行われていて、夏休み以前の係活動よりも活発に行うことができるようになった。
- ・それぞれの係がどの時間に活動しているのかを把握することができる活動カレンダーを活用したことにより、見通しをもって活動することができるようになった。活動が活発になってきたら、徐々に活動をゆるやかに進めることができるように指導していけるとよい。
- ・振り返りをそれぞれの活動後に行ったことにより、友達から認められる機会があり、次の活動への意欲をもつことができた。実態に応じて、書く振り返りではなく、活動後に行けるように、その場で相手に伝える口頭での振り返りがあってもよい。
- ・自尊感情を育むためには、活動をやり遂げた達成感を子どもたちが味わうことが大切である。その思いを味わうことができるように、終末を考えて、活動を設定することが望ましい。途中で活動が停滞してしまう場合には、活動の見通しがもてていないのか、具体的な活動内容がわからないのか、教師がその原因を考えて判断し、適切な指導をすることが大切である。